

生活者 通信

生活と政治をつなぐ情報紙

No.366
2022.3.1

東京・生活者ネットワーク

発行 東京・生活者ネットワーク
〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町2-19-13 ASK ビル4・5階
TEL.03-3200-9189 FAX.03-3200-9274
Eメール tokyo@seikatsusha.net
URL https://www.seikatsusha.me
発行責任者 山内玲子
定価 年間1000円・1部100円 郵便振替口座 00130-3-18417
毎月1回1日発行 1994年5月23日第三種郵便物認可

生活者ネットワーク3つのルール

1

議員は交代制（ローテーション）

生活者ネットワークの議員は、最長でも3期12年で交代します。議員を職業化・特権化せず、世代交代を進めることで参加の層を広げます。任期を終えた議員は、市民政治を広げるための活動や地域活動などに、その経験を活かします。

2

議員報酬は市民の政治活動資金に

生活者ネットワークの活動はカンパで支えられています。議員報酬は、市民の政治活動資金に活かします。お金の流れは公開し、政治資金の透明化をはかっています。

3

選挙はカンパとボランティアで

選挙は、政治に参加する入り口です。みんなでお金（カンパ）と知恵や労力（ボランティア）を出し合い、選挙を行います。

都議会ネット

- 2022年度予算特別委員会(3月7日～23日)。
- 東京都男女平等参画推進総合計画改定（生活文化局）。

地域ネット

東村山ネット

コミュニティの元気をうみ出す新しい働き方～みんなで地域をつくる協働労働の輪～
3月13日(日) 13:30～15:30 オンライン開催／特設会場:ふれあい工房多目的スペース(西武多摩湖線八坂駅) 労働者協同組合法について:小柳智恵さん(東京ワーカーズ・コレクティブ協同組合前理事長)／協同労働のこれからに期待すること:柳澤敏勝さん(明治大学名誉教授)／地域での実践報告 主催:協同労働を広げよう実行委員会 042-392-7677／042-649-8801 189.hck@gmail.com

江戸川ネット

ひととみつへの「井戸端会議」(毎月第3木曜日)
3月17日(木) 20:00～ Zoom 江戸川区議の伊藤ひとみ・本西みつえとZoomを使っのお話し会 03-5607-5975

練馬ネット

子どもへの伝え方～ここからだのはなし
3月20日(日) 14:00～16:00 練馬区役所20階交流会場(練馬駅南口)／オンライン併用
思春期の子どもを持つ保護者の悩みや相談を受け、子どもの性教育について 講師:土屋麻由美さん(麻の実助産所助産師／NPO法人ピッコラーレ理事) 会場参加200円、オンライン参加無料 03-3993-4899

大田ネット

コロナ禍の「人権」を考える～見えないことを知る～シリーズ1「子ども編」
3月27日(日) 13:30～15:30 Zoom 03-6424-7561

世田谷ネット

おしゃべりサロン・ひきこもり支援について、みんなで考えよう!
3月31日(木) 10:30～12:30 若林コンチェルティーノ(世田谷線若林駅) 講師:寝占理絵さん コーディネーター:関口江利子(政策委員) 03-3420-0737

生活者ネットワークは東京都内34の自治体にあり、都議1人、市・区議40人の女性議員とともにそれぞれの地域課題に取り組むと同時に、市や区をこえた「東京問題」には全体で取り組んでいます。

東京を生活のまち、安心・共生・自治のまちにするために発言を続けます。



白井なおこ●応援いただいた皆さま、連日励ましの言葉をかけてくださった方々に勇気づけられた7日間でした。1884票を得て、2期目の当選を果たすことができました。しかし、2期目は落とし穴があるといわれる通り、厳しい選挙戦となりました。選挙への関心・手ごたえがつかめない中、市民自治という言葉は、果たして有権者の心に響いているのか、届いているのか疑心・自問しながらの選挙戦でもありました。政治をお任せにした結果が、生きづらさを抱えることにつながっていないだろうかーそんな自分ごととして捉えてもらえるよう、これからの4年間、多くの方々との対話を重ねていきたいと思います。公約に掲げたケアラー支援条例の制定をめざし、気持ちを新たに、市民政治に取り組んでいきます。

日野市議会議員選挙				
2022年2月20日投票				
白井菜穂子	現	1884票	18位	当選
定数24	立候補者29	投票率40.66%		

地域・元職など少数精鋭が林立する2022市議選。だれが落選してもおかしくない選挙を、白井なおこは勝ち抜きました。当事者市民にインタビューする、丁寧な聞き取り調査からつくったケアラー支援政策や、他の候補者が取り上げない電磁波や化学物質過敏症の問題などを提起、被害当事者の方々からの評価

町田

新人2で挑んだ市議選
笹倉みどり当選!
土谷まさみ及ばず

今回は立憲民主党が新人2人を

日野 政治を 白井なおこ2期目当選!

とともに、応援と励ましをいただきました。生活者ネットワークが日野のまちで32年、コツコツと積み上げてきた活動を継続し、市民自治をさらに広げるために共に活動していきます。

日野・生活者ネットワーク代表
出沼恵美子

2月20日、日野市議会議員選挙と町田市議会議員選挙が行われました。日野市議選には、日野・生活者ネットワークは、現職の白井なおこを擁立し、24議席中18位で当選(29人が立候補)、2期目の議席を得ることができました。町田市議選には、町田・生活者ネットワークは、現職3期のわたべ真実からの交代と議席複数化をめざし、笹倉みどりと土谷まさみ、2人の新人を擁立しました。定数36のところ、49人が立候補する激戦となり、笹倉みどりは、36位で当選しましたが、土谷まさみは、38位次々点となり議席を得ることができませんでした。



笹倉みどり●怒涛の1週間を、なんとか執念で闘いすることができました。開票所が自宅に近いので、小学生の娘と一緒に家族全員で社会科見学。一旦帰宅して、今度は町田市のHPで途中経過を追いしました。立候補を決意して、ようやくこの時を迎えている今、当落線上の攻防を前にして、結局居ても立っても居られず再び会場へ。滑り込みで揃った生活者ネットの1議席です!であればなおさら、気持ちを引き締めて、笹倉みどりが掲げた「子どもの権利条例」の制定、性暴力根絶をめざし、ネットの活動をつなぎ、必ずや広がっていきます。

土谷まさみ●皆さまに多大な応援、ご支援をいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。今回のチャレンジで、多くの方々に会えることができ、さまざまな貴重なお話を聞くことができました。行政支援などが何もなかったところから立ち上げ、地域社会を底上げしてきた市民活動が、町田にはたくさんあります。それぞれがつながると同時に、行政ともつながる「福祉のまち」を豊かに創造していくために、これからも全力で取り組んでいく所存です。笹倉みどりを支え、もっと市民とつながる新たなネットの運営をめざしていきます。

町田市議会議員選挙				
2022年2月20日投票				
笹倉みどり	新	2221票	36位	当選
土谷雅美	新	1927票	38位	落選
定数36	立候補者49	投票率42.52%		

3・11から11年 東電・福島原発事故は 終わっていない

いま
NOW

東京電力福島第一原子力発電所が破局的事故を起こしてから11年になる。事故後、国と東京電力は事故を収束させるための工程表(ロードマップ)を作成した。その中で、熔け落ちた炉心(デブリ)は掘り出し、安全な容器に封入して福島県外に運び出す。それまで30年から40年かかると書いた。しかし、事故から11年経った今でも、熔け落ちた炉心がどこにどのような状態で存在しているかすら明らかでない。曲がりなりにも分かっていた知識によれば、デブリの掘り出しなど100年経ってもできはしない。

いかなる事故が起きても絶対に壊れないと豪語していた原子炉格納容器は破壊され、大量の放射性物質がすでに環境に放出された。デブリを冷やすために間断なく注入されている水も、どこか分からない破損部から原子炉建屋に流れ落ち、格納容器内には貯まらない。

「放射線管理区域」として外界と繋がってはいけない原子炉建屋、タービン建屋も、地震で地下が破壊され、大量の地下水が建屋内に流入し続けている。本当なら一刻も早く、「管理区域」としての機能を回復させ、地下水の流入を止めなければならないのに、「凍土壁」などでできない作業にうつつを抜き、放射能汚染水はすでに130万トンも溜まってしまった。挙句に、どうしようもないので、その汚染水を海に流すと国と東京電力は言い出した。人間に放射能を無毒化する力がないように、環境にも放射能を浄化する力はない。自分にできないからと言って毒物のお守りを環境におしつけることは間違っている。



仮に、国と東京電力の提案通り、放射能汚染水を薄めながら海に流すとしても、それを終えるまでには50年かかる。もちろん私は死んでいる。事故の被害者である住民たちも多くが死んでいるであろう。

それほどの事故を起こしながら、原子力を暴走させてきた国も東京電力も、誰一人として責任を取ろうとしないし、処罰もされない。それをよいことに彼らは、原子力は二酸化炭素を出さないから「グリーン」だなどと言い出した。今や世界中が、二酸化炭素を悪者にするようになった。しかし、真の悪者は際限のない成長を求める人間の欲望とそれと結託した資本主義である。廃止しなければならないのはエネルギーを浪費する社会であり、原発など即刻全廃すべきと私は思う。



小出裕章
元京都大学原子炉実験所助教

細野かよこ

ほその・かよこ



中野・生活者ネットワークは、2022年5月22日投票の中野区議補欠選挙にむけて、前職・細野かよこの擁立を決定しました。

●1962年三重県生まれ。日本福祉大学社会福祉学部第二部卒。学童保育指導員、障がい児入所施設で生活指導員、中高年のケア付き住宅の企画・運営、会報・書籍等の編集業務などに携わる。2007年中野・生活者ネットに参加。12年～3.11東日本大震災、続く福島第一原発事故を経験した子どもたちを対象に「子ども保養キャンプ」を企画・継続。15～19年中野区議会議員。建設委員会、区民委員会、少子高齢化対策調査特別委員会等。環境まちづくりNPOエコメッセ理事。上高田みんなの食堂スタッフ。



2022年5月中野区議補欠選にむけて

東京都2022年度予算案から持続可能な東京を切り拓くために

東京・生活者ネットワーク都議会議員
岩永やす代 [国分寺市・国立市]

都議会REPORT



新型コロナウイルスオミクロン株による第6波は、大変な勢いで感染が拡大し、急増する自宅療養者の医療体制の確保が困難となり、都はまん延防止等措置を3月6日まで延長しました。特に子どもの感染の増加に歯止めがかからず、学校や保育園が閉鎖を余儀なくされるなど、親が仕事に行けない事態となっています。このパンデミックで貧困問題、雇用問題がさらに深刻化し、社会を閉塞感が覆うなか、社会不安を和らげるための支援が必要です。

子どもの権利の理念を共有、確実に実施に向けて

2022年度東京都予算案の一般会計は7兆8010億円と、3年ぶりに過去最大規模となりました。都は今回組織改正を行い、子ども政策の総合的な推進を図る「子供政策連携室」を新設します。予算案には、「東京都子ども基本条例」をふまえた取り組みとして、これまで生活者ネットワークが求めてきた、子どもの権利の理念の普及や子どもの意見表明・参加、子どもの権利擁護を促進する自治体への支援が盛り込まれました。

さらに受験生チャレンジ、ヤングケアラー、子どもの居場所などへの支援も拡充されました。子どもを中心に置き、子どもの困難な状況を改善するしくみとなるよう求めていきます。

脱炭素化への予算が4倍増！廃棄物を出さない資源循環を前に

「ゼロエミッション東京の実現」に向けた予算は約4倍にもなりました。その中には、これまで長らく求めてきた都営住宅への太陽光発電設置が100棟分盛り込まれています。さらに、ネットは都有施設の屋上で、空調機器や緑地のソーラーシェアリングなども提案しています。

NPOや民間事業者の力を積極的に活用して、省エネ、再エネだけでなく、廃棄物を出さない資源循環のしくみサーキュラーエコノミーへの転換が求められます。着実な目標達成のために、都の本気度を示す必要があります。

安全な暮らしの保障を

外環道のトンネル工事による道路陥没事故の原因究明や対策が十分なまま、NEXCOは、陥没現場から離れた地点で工事再開の説明会を開催しました。都は被害住民に寄り添い救済を求めるのはもちろん、安全な暮らしが脅かされる危険な工事をストップさせるべきです。工事の再開中止を求める申し入れを行いました。

東京オリンピック・パラリンピックが終了し、招致活動からのお金の使い道を明らかにして徹底した検証をするともに、競技会場が「負の遺産」とならないように継続の可否を含めた議論が必要です。

都議会生活者ネットワークは、困難な時代を切り開き、信頼を基盤に多様で寛容な社会をめざし、だれもが安心して暮らせる持続可能な東京を実現するため、生活者の視点でチェックしていきます。



2月10日、周辺自治体議員とともに、外環道工事再開中止を求める申し入れを行う。右から左へ、小松久子、都議会議員、木下やすこ、調布市議員、小松久子、都議会議員



水道局施設の屋根に設置された太陽光パネル(国分寺市北町)

いつもの公園で「ツリークライミング」S財団助成金と中野区の協力で実現

中野生活者ネットワーク
前区議会議員
細野かよこ

「登れたよ！」。子どもたちの歓声が次々に聞こえてきます。2021年9月19日、10月24日の2回にわたって開催した「ツリークライミング」は、子どもにも大人にも大好評でした。

場所は中野区の中央部にある約2950㎡の上高田公園。29年前(1993年)に、近隣住民と中野区で建設委員会を立ち上げ、公園の設計から遊具の選定までを区民参加で実現しリニューアルした公園です。一角にはあえて遊具などは設置しない草っぱも残しました。

ここで毎月5回、子どもたちが自分の責任で自由に遊ぶ「プレーパーク」が運営されています。運営を担っているのは地域の住民有志、中野・生活者ネットワークのメンバーも中心的な役割を果たしています。

「木登り」って楽しい！わくわく・ドキドキを体験しよう！

「夢発見！草っパラダイス」スタートから18年間、ずっと子どもたちをみてきた運営委員は、公園にちょうどいい枝ぶりの木があっても登ろうとする子がほとんどいないことが気がかりでした。声をかければ登る子もいますが、自分から登ろうとする子はほとんどいません。子どももって目の前に木があれば登りたくなる



ツリークライミング風景。「登れたよー」 子どもたちは大喜び

んじゃないの、と思う運営委員やプレーリーダーが、子どもたちに木登りを体験させてあげたいと企画したのが、いつもの公園での「ツリークライミング」です。

幸いなことに、S財団からの助成を受けることができたので、予算の目処はたちました。あと必要なのは当日公園を占有するための区の許可証です。区長と公園担当職員との懇談会を持ち、子どもたちがわくわくする体験の大切さと、実際に運営する「ツリークライミングジャパ

子どもの「遊ぶ」を条例で保障

中野区ではこの3月に、「子どもの権利に関する条例」の成立が見込まれています。中野・生活者ネットワークとしても、20年以上にわたって要望してきた条例です。条例第2章 あらゆる場面における権利の保障には、「学び、休み、および遊ぶこと。そのために必要な環境を整えられること」とあり、子どもの遊びの保障とその環境を整えることが、条例案にしっかりと謳われています。

中野・生活者ネットワークは、子どもたちが毎日行ける常設のプレーパークが必要だと考えています。条例の制定で遊びを保障する政策に予算がつき、子どもたちが「遊ぶ」環境が整えられることに期待しています。



「夢発見！草っパラダイスの準備はまず、子どもたちが木を断る準備中。細野かよこ、住民有志の人として準備中の細野かよこ

編集後記／日野・町田市議選が終了した(1面に詳報)。「春眠暁を覚えず」のごとく、心地よい眠りを貪りたい気分しきり…。だが、この後の自治体選挙日程はといえば、清瀬市長選・市議補選4月3日、中野区長選・区議補選5月22日、立川市議選6月19日、杉並区長選・区議補選6月19日、品川区長選・区議補選10月2日、西東京市議選12月と、正に目白押し。市民政治をさらにひろげ定着を見るまで、市民・女性たちの歩みが止まることはない。(加藤)